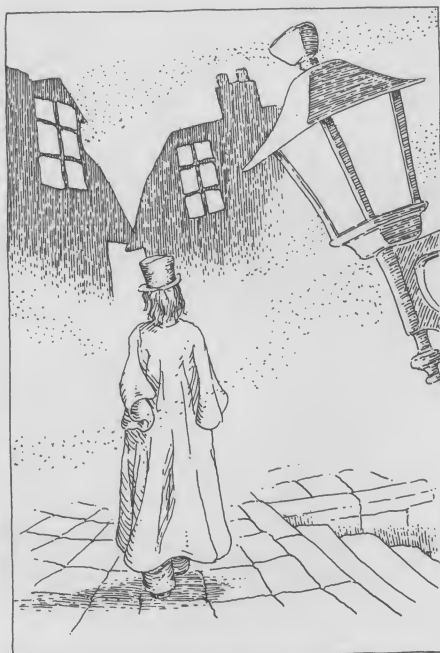
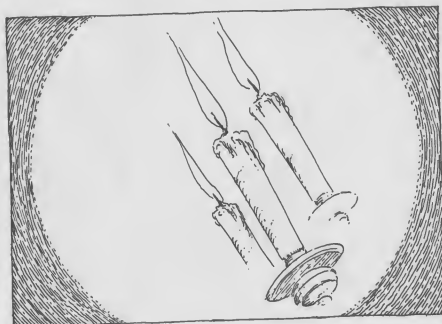
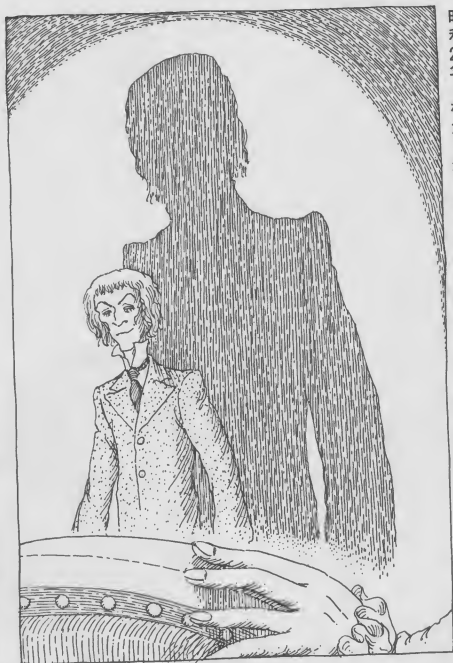
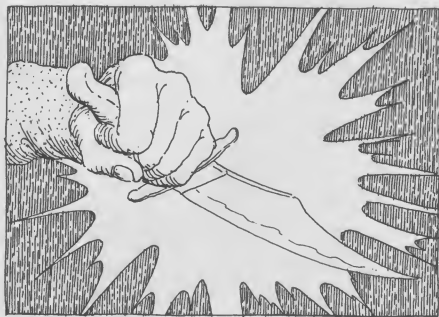
ゆううつそうな眼をしたその青年は、うつむいたまま私の部屋にはいり、小さな包みをデスクの上におくと、いすの中にくずれるようにすわりこみ、ひくい、かわいた声で語りはじめるのだつた。

青年の話——
夜、外出から帰った僕は、自分の部屋の中に意外なものを見たのです。
それは、長い髪の、見知らぬ少女……。

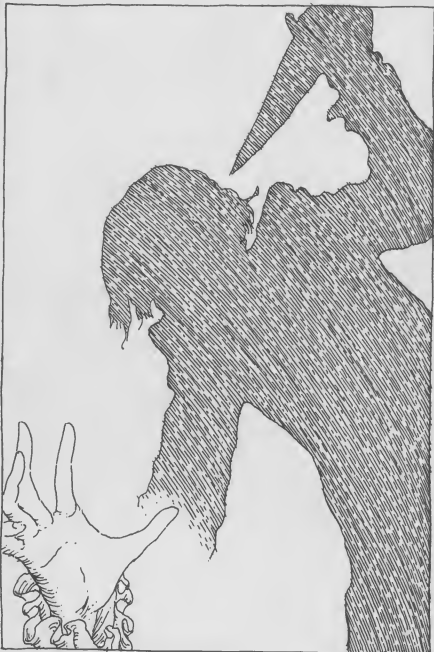
昭和28年、横浜に生れる。高校中退。デビュー作「流星」('70・2月号)。代表作「薔薇と拳銃」。主著「地獄のドンファン」「快傑蜃気楼」「薔薇と拳銃」。

彼女は素敵でした。
ぎこちなく話かける僕に、
つつましく、しかし笑顔で
応えてくれるのです。

話していると、時のたつのも
忘れてしまう、彼女は、そん
な少女でした。しかし……。

僕の中のもう一人の僕が、
こう語りかけるのです。

「たしかに今の彼女は素敵だ、」しかし、このひとときが過ぎたとき、そのとき、彼女はいないかもしれない。よしんばいたとしても、それは、今の彼女ではない。蠟燭はとけ、やがて炎は消えるのだ。」

僕は自分が、何を考えているのかもわかりませんでした。何を見ているのかもわかりませんでした。

ただ、なぜか、僕は短剣をにぎっていたのです(!)。

そして……。

マンガ界のことを知るようになって、ガロという雑誌の大切さを実感しました。本当に大変なこととは思いますが、これからも長く続けてほしいと思います。マンガを読むこと、描くことが本当に好きな人たちのために。

ふと我に返った時、僕は、自分が、少女を殺したのだという事を知りました。いえ、それだけではありません…。

僕は少女の躰を、冷たい、ちいさな躰を、バラバラに切りきざんでしまっていたのです。

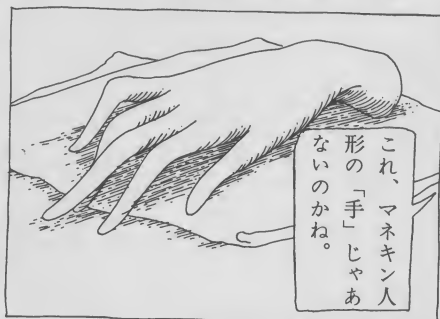
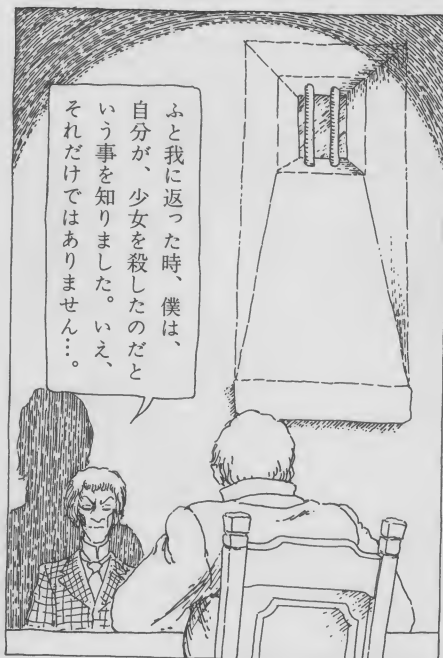
ふむ…。そしてこの包みが、その少女の「手」だと、いうのだね。

はい…。

しかしね、君…。

これ、マネキン人形の「手」じゃぁないのかね。

完 47・1・15

—探偵陰溝蝿兒—

和小路伯爵邸のトラブル

「初めて会った日は台風の来そーな天気でした。
愛ちゃんはダンボールの箱に入っていてはこばれて来ました。』
—渡辺和博『たらこ筋肉毒電波』

作画・谷弘兒

—1983—

☆YOKOHAMA-UNIQUE-CLUB☆

いい年をして小娘にちょっかいを出すバカがおれば…

血迷って刃物を振り回す青二才がいる！

ふむ…問題の娘さんがその二人を止めにはいって
あやまって刺された——と

こういうわけですね

で・死体はこのトランクの中？
そうじゃよ！

やわらかいうちに折りたたんでいれたのじゃ時がたつとかたくなるからの！

☆豆知識 〈名前の正しい読み方〉 谷弘兒＝たに・ひろじ 陰溝蠅兒＝かげみぞ・ようじ…まちがえないよーに

あれで
よかったの？
はい！
大変
結構でした

あの・じゃ・これ
適当に
捨ててください
ね
はいよ

あ…

世話がやけるよナ…
ま……慣れておりますので……

ガクンッ

じゃーねー
ウォー
はい

ゴトッ
おっと

コトン
コトン
コトン
コトン
ぱか!
コトコト

ね……
お嬢さん!
すてきな
カツラがね
…
ズッコケてる
よ

コッ
コッ
コッ
コッ

ギイー

コツ
コツ
コツ
コツ
ギギギギギ
ギギギ……
フーッ
カクン
ギギギ
ギギギ
ギギギ
コツコツ
コツ

ギギギ
ギギギ
カクン
ギギギギ
カクン
カクン
ギギギ
カクン
コクン
カクン
ギギギギギ
カクッ
カクッ
ギギギギギ
ギギギギギギ
あはは！
華やか！
華やか！
すてきな
舞踏会
じゃ！
ぱちぱち
ギギギギギ
ギギギ
ギギギギギ
まるで何事も
なかったかの
ようじゃ！
あはは！あはは！
ぱちぱち

オハリ.